

学院短大

就職率 100% 達成

学院大は96%超え

学生の努力を教職員支援

金沢学院大学と金沢学院短期大学の平成十五年卒業生の就職状況は、四月末日現在、学院短大が100%と、前年に引き続いて希望者全員の就職を勝ち取りました。学院大は96.3%(前年度94%)で、厳しい就職戦線が続く中で、大学は前年同期を上回りました。

学院短大は百五十八人の卒業生のうち、百二十人が就職を希望していました。四月に入ってからも学生の最後の活動を教職員が支援して、全員の就職を達成しました。学院大では、四百二十九人の卒業生のうち二百六十七人が就職を希望し、二百五十七人の就職が決まりました。

石川労働局と八〇〇ワークがまとめた今年三月末の石川県内の新規学卒者就職決定状況によると、大学・短大・高専・専修学校卒業者の就職決定率は90.6%で、二年ぶりに上昇しています。就職指導部の話、今年度も厳しさはそれほど変わらぬが、両学とも100%を達成す

るように支援します。



学内合同企業説明会が就職チャンスを広げた。平成15年4月17日、第一体育館



発展へ三学一体に

学園長・学長就任パーティー

学校法人金沢学院大学の学園の発展にまい進することを誓い合いました。学園長・学長就任披露パーティーは五月十五日、ホテル日航金沢で、学院大理事長は「教職員が職員二百四十四人が出席し、三学が一体となって学生・生徒を確保してほしい」と

金沢東、健闘及ばず

北信越高校野球県大会、金沢東高校は四月二十九日、北信越高校野球石川県大会の3回戦で小松商業高校と対戦しましたが、0で敗れました。

東高校は6安打を放つたものの、タイムリーは出ませんでした。林、宮前両投手は計9三振を奪う力投を見せましたが、安打8本に3失策が絡んで4点を失いました。岡田史郎部長は「投手はコントロール、打者はここ一番の勝負強さがあればもっと勝ち進めた」と手こたえがあったことを挙げ、夏の大会に向けて奮起を促しています。

フットボールキャンプ始まる

学院大3学部の学生

白山麓研修センターで

金沢学院大学の新入学生を対象にした平成十六年度フットボールキャンプは五月十三日の文学部を皮切りに始まり、文学部では、日本文学科七十人、国際文化学科三十三人が参加しました。この

うち日本文学科では、二班に分かれて、泉鏡花記念館、室生犀星記念館や周辺の文学散歩を行いました。犀星コースの学生は、流しびなの形の犀星文学碑が印象に残った様子でした。尾口村の白山麓研修センターでは、文弥人形浄瑠璃を興味深げに観劇しました。五月下旬に美術文化学部、六月に経営情報学部が行われます。



室生犀星記念館を見学する学生

細川さん優勝

創立記念第四回理事長杯争奪ゴルフ大会は五月十五日、加賀市の片山津ゴルフ倶楽部山代山中ゴルフ場で行われました。教職員十八人が参加し、好天の下で熱戦を展開しました。ダブルペリア方式で順位を競った結果、細川亮弥法



上山副理事長による始球式



上位入賞者 史郎教頭で

発行・広報室